

第5章

分析・評価・課題の整理

-
- 5-1 機能の分析・評価**
 - 5-2 前回計画の進捗状況**
 - 5-3 都市公園の配置の分析・評価**
 - 5-4 課題の整理**
-

第5章 分析・評価・課題の整理

5-1 機能の分析・評価

緑が都市において果たす主要な機能として、環境保全、レクリエーション、防災、景観形成の4つがあげられ、これらの機能を持った緑がネットワークを形成することにより、緑の機能が効果的に発揮されます。

また、都市に暮らす人々が生態系サービス（人類が生態系から得ている利益）を継続的に受けられるように、生物多様性の確保が重要となっています。

本項では、これら5つの機能別に緑の分析・評価を行います。

■機能の区分と視点

区分	視点
環境保全機能	<ul style="list-style-type: none"> ・都市緑化の骨格を形成する緑 ・優れた自然を有する緑 ・優れた歴史的風土を感じさせる緑 ・快適な生活環境を支える緑 ・優れた農林業地の緑 ・動植物の保全に資する緑 ・都市環境の維持・改善に資する緑
レクリエーション機能	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や歴史とのふれあいの場 ・日常生活圏におけるレクリエーションの場 ・広域圏におけるレクリエーションの場 ・ネットワーク性の確保
防災機能	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の防止・緩衝 ・人為災害の防止・緩衝 ・避難 ・災害に強い都市構造の形成 ・多様な防災活動拠点の確保
景観形成機能	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を代表する郷土景観 ・地区や住区の良好な景観 ・優れた景観の眺望点 ・ランドマークとなる場所 ・景観構成のバランス ・都市景観の創出が必要な地区
生物多様性機能	<ul style="list-style-type: none"> ・生息・生育環境の多様性 ・生態系サービス

出典:「新編緑の基本計画ハンドブック(平成19年4月)」「生物多様性に配慮した緑の基本計画策定の手引き(平成30年4月)」

(1) 環境保全機能

環境保全機能として、都市緑化の骨格の形成、優れた自然環境、優れた歴史的風土、快適な生活環境、優れた農林業地、動植物の保全、都市環境の維持・改善の視点から分析・評価を行いました。

1) 都市緑化の骨格を形成する緑

都市緑化の骨格を形成する緑の要素としては、「軸」となる河川と「面」となる農地・丘陵地があります。

本町を南北に流れる阿久比川水系、十ヶ川水系とその両側に広がる農地は、都市緑化の骨格となっており、本町の特徴となっています。また、丘陵地のまとまった樹林は、市街地の後背に連なり、阿久比川沿いに広がる農地とともに、良好な緑地として保全・整備が求められます。

視点	分析要素	対象となる緑地
都市緑化の骨格を形成する緑	都市緑化の骨格となる河川	阿久比川水系、十ヶ川水系など
	市街地を取り巻く丘陵地	植大地区（権現山周辺）や町東部の丘陵地
	市街地を取り巻く農用地	農業振興地域農用地区域

2) 優れた自然を有する緑

河川や湿地、ため池などの良好な水辺周辺は、水鳥や陸鳥、トンボ、ホタルなど多様な生き物が見られることから、生物の生息環境に配慮した保全が求められます。

植大地区（権現山周辺）や町東部の丘陵地の樹林、また町内に広く分布する社寺林は、比較的まとまりのある樹林地であり、良好な植物群落を形成しており、保全を図る必要があります。

視点	分析要素	対象となる緑地
優れた自然を有する緑	良好な水辺地	阿久比川水系、板山高根湿地、草木池周辺の湿地、山田池、西狐谷池、屋郷池、大池脇池など
	貴重な野生動物の生息地	阿久比川水系、板山高根湿地、草木池周辺の湿地、山田池、草木池、阿屋免池、箭比神社周辺など
	良好な植物群落	植大地区（権現山周辺）や町東部の丘陵地の樹林、社寺林（箭比神社、熊野神社、多賀神社、清来寺、秋葉神社（草木、卯之山）、大山祇神社）など
	良好な地形	植大地区（権現山周辺）や町東部の丘陵地 箭比神社周辺など

3) 優れた歴史的風土を感じさせる緑

本町の誇るべき史跡や天然記念物、山車などの祭事による住民の交流の場となる社寺を含む一体の緑（社寺林）は、町固有の歴史的風土であり、適切な保全により後世へ継承することが求められます。

視点	分析要素	対象となる緑地
優れた歴史的風土を感じさせる緑	史跡周辺の緑地	坂部城跡、二子塚古墳、板山長根古窯、久松・松平家葬地
	天然記念物	熱田社の楠
	山車を有する社寺境内の緑	神明社、大山祇神社、熱田社、八幡社
	知多四国霊場めぐりの札所	安楽寺、洞雲院、観音寺 など
	文化的意義を有する社寺林	熊野神社、箭比神社、縣神社、津島神社、八幡神社、阿久比神社、天満社、神明社 など

4) 快適な生活環境を支える緑

生活の身近にある都市公園や緑地、ちびっこ広場、グランドなどの公共施設緑地は、住民の憩いの場として、快適性や安全性に配慮した適正な管理により、維持していくことが必要です。

また、市街地やそれに隣接する地域に分布する社寺林、農地、街路樹や河川・ため池の緑は、都市の快適で潤いある生活環境を形成する貴重な資源として、保全・維持管理を図ることが求められます。

視点	分析要素	対象となる緑地
快適な生活環境を支える緑	都市公園等	都市公園、公共施設緑地（ちびっこ広場、グランド、ふれあいの森など）
	市街化区域の緑地及び周辺地域の一団の緑地	社寺林、農地、街路樹 など
	水辺地	阿久比川水系、十ヶ川水系、ため池 など

5) 優れた農林業地の緑

良好な管理がなされ、都市の環境保全に資する生産力の高い農地や林地などの農林業地は、拡大する市街化を抑制するとともに、農地は良好な緑のオープンスペース、森林は騒音や粉塵、風害などの影響の緩和などの役割も有することから、将来の都市化を踏まえながら保全を図ることが求められます。

視点	分析要素	対象となる緑地
優れた農林業地の緑	優良農地	農業振興地域農用地区域
	森林	地域森林計画対象民有林

6)動植物の保全に資する緑

河川周辺や開発が進む中で残された丘陵地のため池とその周辺の樹林は、湿性植物の生育地、水鳥や陸鳥、ハッショウトンボなど昆虫類の生息地となっており、適切な保全を図る必要があります。

また、本町では、「ホタル飛び交う住みよい環境づくり」をめざし、ホタルの発生状況や生態などの研究調査を行っています。町内でホタルは阿久比川流域の水田などの水辺で確認されているほか、白沢ホタルの里などでホタルの飼育が行われています。

視点	分析要素	対象となる緑地
動植物の保全に資する緑	野生動物生息地	阿久比川水系、板山高根湿地、草木池周辺の湿地、山田池、草木池、阿屋免池、箭比神社周辺 など
	ホタル生息地	草木川、前田川周辺の農地、白沢ホタルの里 など

7)都市環境の維持・改善に資する緑

市街化区域にある都市公園や公共施設緑地、工業用地の緑地、社寺林や農地のほか、風の通り道となる河川は、都市環境の維持・改善に資する機能を有することから、連続した緑や河川の配置・保全を図ることが求められます。

視点	分析要素	対象となる緑地
都市環境の維持・改善に資する緑	市街化区域内の緑地	都市公園、公共施設緑地、工業用地の緑地、社寺林、農地 など
	風の通り道となる河川	阿久比川水系 など

<阿久比川>

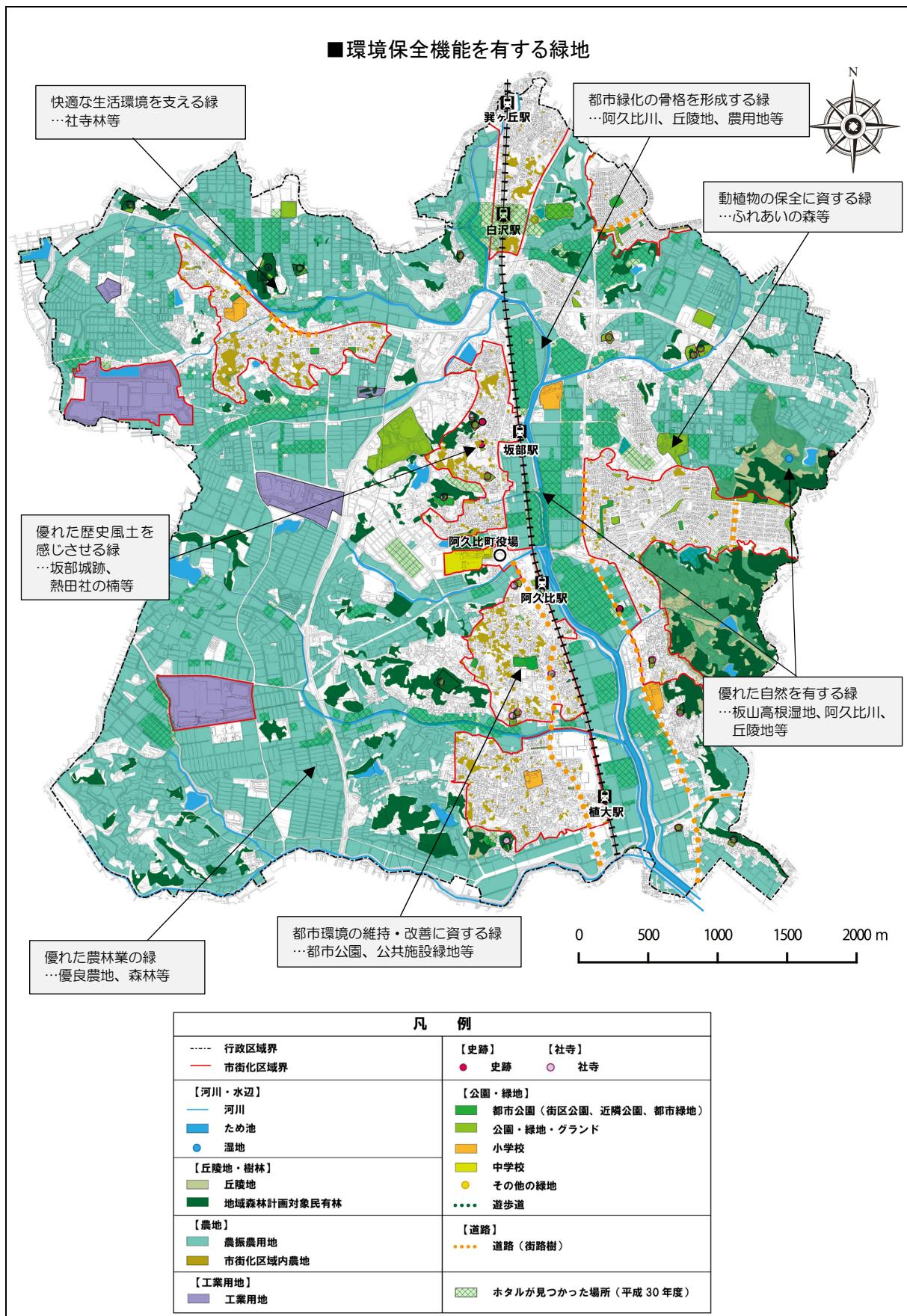


<権現山周辺の樹林>



■環境保全機能を有する緑地の評価

対象となる緑地		環境保全機能						
		都市緑化の骨格を形成する緑	優れた自然環境を有する緑	優れた歴史的風土を感じさせる緑	快適な生活環境につながる緑	優れた農林業地の緑	動植物の保全に資する緑	都市の環境の維持・改善に資する緑
河川・水辺	阿久比川(ホタル、水鳥・陸島、ヨシ群落やワンド)	●	●		●		●	
	矢勝川(彼岸花、水際には植生が繁茂、親水施設、河川美化活動等の愛護活動、サイクリングロード)	●	●		●			
	前田川(ホタル、水際には植生が繁茂、環境に配慮された護岸)	●	●		●		●	●
	草木川(ホタル、水際には植生が繁茂、勾配の緩やかな河岸や魚道、サイクリングロード)	●	●		●		●	
	福山川(水際には植生が繁茂)	●	●		●		●	
	殿越川(殿越川景観遊歩道)	●	●		●		●	●
	鎌子川	●	●				●	
	砂走川	●	●				●	
	十ヶ川(水際植生が連続、主に掘込河道)	●						
	英比川(瀬や淵は見られず、両岸コンクリート護岸)	●						
	板山高根湿地周辺(ハッショウトンボ、シラタマホシクサ)	●		●			●	
	山田池(カモなどの水鳥)		●		●		●	
	草木池周辺(カモなどの水鳥)		●		●		●	
	阿屋免池(カモなどの水鳥)		●		●		●	
	西狐谷池周辺(ヒヨドリなどの陸鳥、ヒンが覆う)		●		●		●	
	屋郷池(アラカン、ヤマモモなどの林と水辺)		●		●		●	
	大池脇池(樹林と一体化した水辺)		●		●		●	
丘陵地・樹林	植大地区(権現山周辺)	●	●					
	町東部丘陵地	●	●					
農地	地域森林計画対象民有林					●		
	農業振興地域農用地区域	●				●		
	市街化区域内農地				●			●
社寺	熱田社(天然記念物の楠)(山車)			●				
	熊野神社(シイの多い林)		●	●				
	箭比神社(スギ、シイの多い林)		●	●			●	
	多賀神社(シイの多い林)		●					
	清来寺周辺(クロマツ林)		●					
	秋葉神社:草木(シイの多い林)		●					
	秋葉神社:卯之山(クロマツの多い林)		●					
	大山祇神社(ヤブミョウガ、オニユリなど)(山車)		●	●				
	八幡神社:白沢			●				
	八幡神社:大古根(山車)			●				
	八幡神社:草木			●				
	八幡神社:坂部、植			●	●			●
	神明社:横松(山車)			●				
	神明社:植			●				
	縣神社			●				
	阿久比神社			●	●			●
	天満社			●	●			●
	津島神社			●	●			●
史跡	洞雲院(知多四国靈場めぐり札所)			●				
	安楽寺(知多四国靈場めぐり札所)			●				
	観音寺(知多四国靈場めぐり札所)			●				
公園・緑地	坂部城跡			●				
	二子塚古墳(宮津公民館隣)			●				
	板山長根古窯			●				
	久松・松平家葬地(洞雲院)			●				
	都市公園(街区公園、近隣公園、都市緑地)				●			●
	ふれあいの森(ホタル養殖場)				●			
	阿久比スポーツ村				●			
	グランド(白沢、草木、板山)				●			
	ちびっ子広場(遊園)				●			●
	普通公園(陽なたの丘中央公園等)				●			●
地区	緑地等(高根台緑地、陽なたの丘緑地等)				●			●
	小学校(鳳あげ会場)				●			●
	阿久比中学校(鳳あげ会場)				●			●
	白沢ホタルの里					●		
	工業用地の緑地							●
	道路(街路樹)				●			



(2) レクリエーション機能

レクリエーション機能として、自然や歴史とのふれあいの場、日常圏におけるレクリエーションの場、広域圏におけるレクリエーションの場、レクリエーション利用効果を高めるネットワーク性の確保について分析・評価を行います。

1) 自然や歴史とのふれあいの場

親水施設のある矢勝川や草木川などの河川、野生動物の生息地となっている湿地・池、良好な植物群落の見られる丘陵地の縁などは、自然とのふれあいの場として保全を図るとともに、環境に配慮した利用に資する整備が求められます。

町内で実施されている農業まつりや青梅もぎとり体験などのイベント会場は、町民などの自然とのふれあい機会の場となっています。

史跡である坂部城跡は、現在、城山公園として住民の憩い、散策の場となっており、町の歴史の中で重要な要素でもあることから、適正な維持管理が求められます。

視点	分析要素	対象となる緑地
自然や歴史とのふれあいの場	河川、水辺	阿久比川水系 板山高根湿地、山田池、草木池、阿屋免池、西狐谷池周辺 花かつみ園 など
	一団となった樹林地	植大地区（権現山周辺）の丘陵地の樹林 箭比神社周辺 など
	自然とのふれあいイベントの会場	草木グランド(春だ！れんげだ！農業まつり) ふれあいの森周辺の梅畠（青梅もぎとり体験）
	史跡周辺の緑	坂部城跡

<花かつみ園>



<箭比神社の社寺林>



<農業まつり>



<青梅もぎとり体験>



2)日常圏におけるレクリエーションの場

本町には、都市公園として、街区公園 16 カ所、近隣公園 1 カ所、都市緑地 1 カ所が整備されていますが、地区公園や総合公園などではなく、住民一人あたりの都市公園面積は約 2.3 m²／人と少ない状況にあります。

このほか、住民のスポーツ・レクリエーションの場となる公共施設緑地として、ちびっこ広場やグランドなどあります。

これらの公園や緑地は、地域住民が日常的に歩いて行けるレクリエーションの場として適正に配置、維持管理を図っていく必要があります。

視点	分析要素	対象となる緑地
日常圏における レクリエーション の場	都市公園 公共施設緑地	都市公園 18 カ所 普通公園、緑地、ちびっこ広場、グランド など

3)広域圏におけるレクリエーションの場

広域的なスポーツ・レクリエーションの場として、阿久比スポーツ村及びふれあいの森があります。

阿久比スポーツ村は、周辺の森林を活かした、休養、スポーツ、自然などのふれあいなど様々な週末レクリエーション活動を楽しめる運動公園として整備を図ることが求められます。

また、知多半島サイクリングロードは知多地域を結ぶ広域的なサイクリングコースで、未整備区間の整備を進めることが求められます。

視点	分析要素	対象となる緑地
広域圏における レクリエーション の場	広域的なレクリエーション 拠点 サイクリングコース	阿久比スポーツ村、ふれあいの森 知多半島サイクリングロード

4)ネットワーク性の確保

地域の資源を巡る散策路や河川沿いのサイクリングロードは、地域の探訪、景観の享受、健康づくりなどの場となることから、案内板の設置や歩きやすい、走りやすい舗装など、ネットワーク性の維持に努めることが求められます。

視点	分析要素	対象となる緑地
ネットワーク性 の確保	散策コース 河川	ふれあいマップに掲載された散策コース 阿久比川水系（矢勝川、草木川） 知多半島サイクリングロード など

■レクリエーション機能を有する緑地の評価

対象となる緑地	レクリエーション機能			
	自然や歴史とのふれあいの場	日常圏におけるレクリエーションの場	広域圏におけるレクリエーションの場	ネットワーク性の確保
河川・水辺	矢勝川(彼岸花、水際には植生が繁茂、親水施設、河川美化活動等の愛護活動、サイクリングロード)	●		
	草木川(ホタル、水際には植生が繁茂、勾配の緩やかな河岸や魚道、サイクリングロード)			●
	殿越川(殿越川景観遊歩道)	●		
	板山高根湿地周辺(ハッショウトンボ、シラタマホシクサ)	●		
	山田池(カモなどの水鳥)	●		
	草木池周辺(カモなどの水鳥)	●		
	阿屋免池(カモなどの水鳥)	●		
丘陵地・樹林	西狐谷池周辺(ヒヨドリなどの陸鳥、ヒシが覆う)	●		
	植大地区(権現山周辺)	●		
	箭比神社(スギ、シイの多い林)	●		
史跡	坂部城跡	●		
公園・緑地	都市公園(街区公園、近隣公園、都市緑地)		●	
	ふれあいの森(ホタル養殖場)			●
	阿久比スポーツ村			●
	グランド(白沢、草木、板山)	●	●	
	ちびっ子広場(遊園)		●	
	普通公園(陽なたの丘中央公園等)		●	
	緑地等(高根台緑地、陽なたの丘緑地等)		●	
	ふれあいマップに掲載された散策コース			●
	知多半島サイクリングロード		●	●
	花かつみ園(下芳池)	●		

